

平成30年度草の根・人間の安全保障無償資金協力  
「アズラック・シリア難民キャンプ内視聴覚力診断所の機材及び設備整備計画」  
医療機材供与式典（オンライン）

2021年5月24日、日本政府の草の根人間の安全保障無償資金協力の枠組みにより実施された「アズラック・シリア難民キャンプ内視聴覚力診断所の機材及び設備整備計画」のための医療機材供与式典がオンラインで実施され、嶋崎駐ヨルダン大使が出席しました。

本計画は、2005年以来ヨルダン国内の脆弱な人々へ自立支援を行っており、特に2012年のシリア危機以降は、シリア難民支援も行ってきた実績のあるNGO「国際キリスト教正教会慈善団体」（IOCC）が運営する、アズラック・シリア難民キャンプ内視聴覚力診断所へ医療機材と患者輸送用の車両一台を配備することにより、主に脆弱性の高いシリア難民への医療サービスの質の向上に寄与することを目的としています。

同式典では嶋崎大使から、本支援によりIOCCにおける取組が一層促進されることを期待する旨述べるとともに、IOCCからの事業説明及び視聴覚力診断所・供与機材紹介のためのバーチャル・ツアーが行われました。ローレン・ハイアットIOCCヨルダン事務所長からは、日本の支援に対する感謝の言葉が述べられました。

日本政府は、1993年以降、草の根・人間の安全保障無償資金協力により、ヨルダン国内のNGO、学校、病院及び地方自治体に対して、累計150件以上、総額1,000万ドル以上の支援を行っています。

供与機材の紹介



記念撮影（嶋崎大使:中央、ローレン事務所長：左中央）

